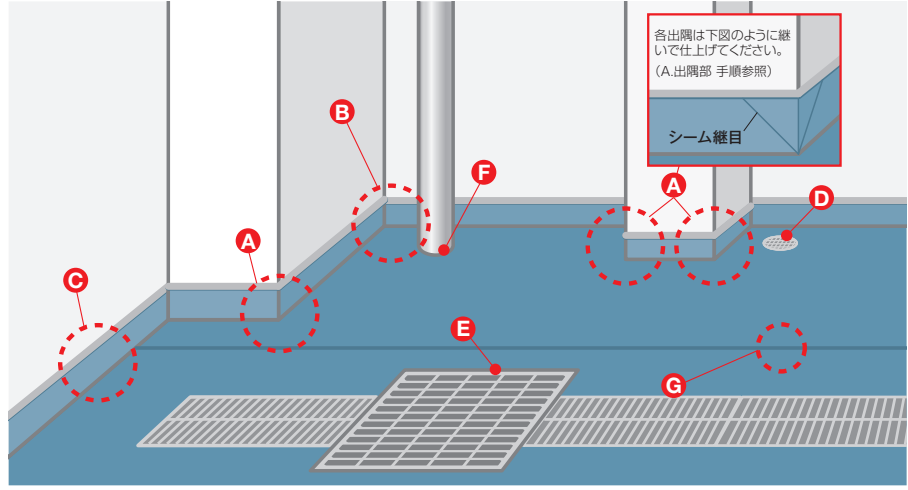
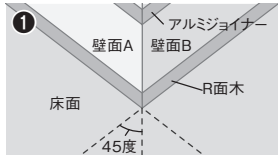


ネオセーフ抗菌 納まり図

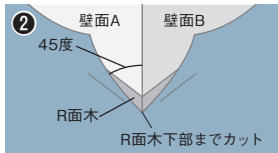
※納まり図は一例です



A. 出隅部

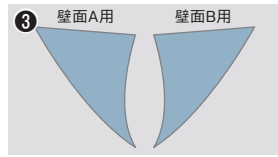


①床面と壁際とのコーナーにR面木を取り付けます。巻き上げ高さの位置にアルミジョイナーを取り付けます。

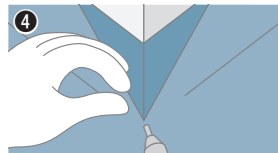


②出隅の角に対して45度にR面木下部までカットします。

※推奨シーム材 (株) 広島
・コールドシームA(シート断面用)
・コーナーペースト(表面仕上げ用)

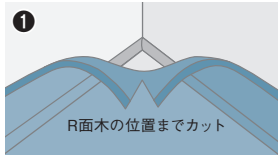


③出隅の材料が不足する各壁面A・壁面Bを三角形で足します。(不足部分は型紙などで寸法をとる事をお薦めします)

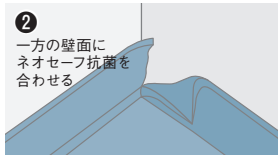


④継目部分はまずコールドシームAでシート断面を溶着させ、次にコーナーペーストでシート表面を仕上げます。

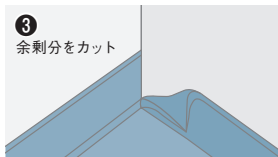
B. 入隅部



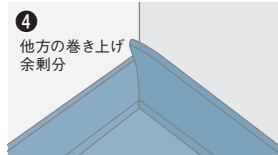
①床面と壁面とのコーナーにR面木を取り付け、アルミジョイナーを取り付けます。入隅のR面木上部までネオセーフ抗菌をカットします。



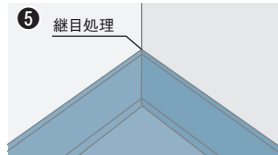
②ネオセーフ抗菌を両方の壁面に立ち上げ、できるだけ入隅に押し付け、不要部分をカットします。



③一方の壁面にネオセーフ抗菌を合わせ余剰分をカットします。



④他方の壁面にネオセーフ抗菌を合わせ余剰分をカットします。

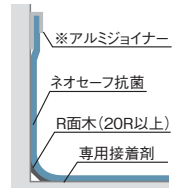


⑤両方の端部で正しく合わせ、継目をまずコールドシームAでシート断面を溶着させ、次にコーナーペーストでシート表面を仕上げます。

※推奨シーム材 (株) 広島
・コールドシームA(シート断面用)
・コーナーペースト(表面仕上げ用)

C. 巾木部

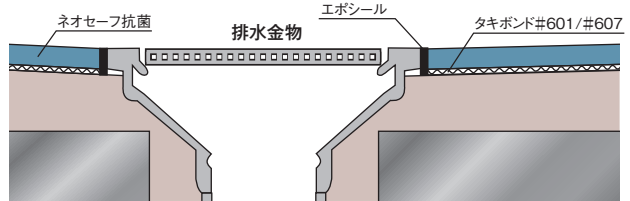
ネオセーフ抗菌を巾木まで巻き上げて施工します。アルミジョイナーと20R以上のR面木を使用してください。アルミジョイナーは、ネオセーフ抗菌を施工する前に、巻き上げ高さの位置に取り付けてください。
※アルミジョイナー推奨部材 (株) アシスト製 NO.20-311S



D. 排水金物廻り

●水勾配

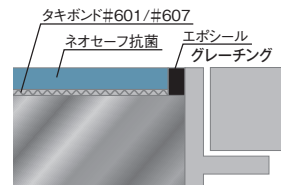
床下地に水勾配をつける場合、排水口金具の周囲1m以内はできるだけ均一な傾きであることが重要です。排水口金具の至近部分で丸め込んで「面合わせ」してある場合は、ネオセーフ抗菌の割れや剥がれ等の原因になります。



E. グレーチング廻り

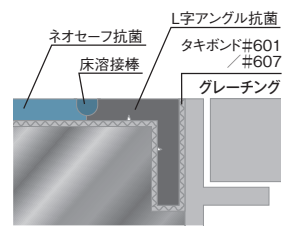
●エポシール工法

①グレーチング受金物から5mm以上の隙間を設けてネオセーフ抗菌をカットします。
②専用接着剤にて張り付けます。
③エポシールを図のように打設します。



●L字アングル工法

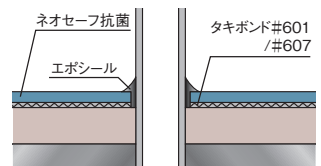
①グレーチング受金物に沿ってダイヤモンドカッターで目地切ります。
②専用接着剤を全面に塗布します。
③L字アングル抗菌を図のように目地切り部に埋め込みます。
④ネオセーフ抗菌を張り付けます。
⑤タキストロン床溶接棒にて継目部を熱風溶接します。



※L字アングル抗菌の厚みがシートと異なる場合は差し込み方向を逆にしてください。

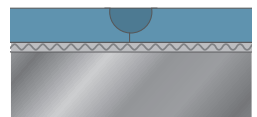
F. パイプ廻り

①パイプから2~3mm程度の隙間を設けてネオセーフ抗菌をカットします。
②専用接着剤にて張り付けます。
③エポシールを5mm以上の中で図のように打設します。



G. 継目

①溝切り機等でシートの厚みの2/3程度の深さでU字溝を設けます。
②熱風溶接機(ライスター)でタキストロン床溶接棒を溶融させながら溶接します。
③溶接棒が冷えてから余盛部を平滑に仕上げます。



マンション、
各種施設用

階段用

低層アパート
(押出成形セメント板
専用)

蓄光製品シリーズ

プールサイド、
各種施設用

学校、
屋内施設専用

幼児施設
テラス専用

厨房
屋内施設用

屋内施設用

試験データ
法規関連

施工、
接着剤、副資材、
メンテナンス